

第8単元 あまりのあるわり算①

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	60 (各5)	① 6あまり4 (たしかめ) $7 \times 6 + 4 = 46$ ② 9あまり2 (たしかめ) $9 \times 9 + 2 = 83$ ③ 8あまり1 (たしかめ) $3 \times 8 + 1 = 25$ ④ 3あまり5 (たしかめ) $6 \times 3 + 5 = 23$ ⑤ 9あまり2 (たしかめ) $4 \times 9 + 2 = 38$ ⑥ 7あまり4 (たしかめ) $8 \times 7 + 4 = 60$	〔知技〕乗法九九を1回適用する除法で、あまりのある場合の計算と、その検算ができる。	答えがうまく見つけられない児童には、除数の段の九九の中で、積が被除数を超えない最大の九九を見つけるように指導する。また検算によって答えを確かめるようにする。
②	20 (各10)	① $41 \div 6 = 6$ あまり5 に○ ② $27 \div 7 = 3$ あまり6 に○	〔知技〕除法のあまりの意味を理解している。	あまりは、除数より大きくなってはいけないことを、図などを用いて気づかせる。
③	10 (各5)	$37 \div 8 = 4$ あまり5 4本とれて、5mあまる。	〔知技〕場面に応じた立式ができる。問題を解決することができる。	正しく立式できない児童には、場面の様子を絵や図などに表してから考えさせる。
④	10 (各5)	$75 \div 9 = 8$ あまり3 9日(9日間)	〔知技〕あまりも1とみて問題を解決することができる。	

第8単元 あまりのあるわり算②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 1 ② 4 ③ みさこ ④ こうじ	〔思判表〕除法のあまりに着目することによって、問題を解決している。	表などを使って、6人のそれぞれのあまりがいつも同じであることに気づかせる。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	4問	3～2問	1～0問

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。